

産業建設常任委員会会議録

[平成25年 4月25日開催]

南あわじ市議会

産業建設常任委員会会議録

日 時 平成25年4月25日
午前10時00分 開会
午前11時43分 閉会
場 所 南あわじ市議会委員会室

1. 出席委員、欠席委員、事務局出席職員及び説明のために出席した者の職氏名

出席委員（7名）

委 員 長	阿 部 計 一
副 委 員 長	印 部 久 信
委 員	谷 口 博 文
委 員	出 田 裕 重
委 員	中 村 三 千 雄
委 員	砂 田 杲 洋
委 員	長 船 吉 博
議 長	森 上 祐 治

欠席委員（なし）

事務局出席職員職氏名

次 長	高 川 欣 士
課 長	垣 光 弘
書 記	船 本 有 美

説明のために出席した者の職氏名

市 長	中 田 勝 久
副 市 長	川 野 四 朗
産 業 振 興 部 長	岸 上 敏 之
産業振興部付部長（鳴門の渦潮世界遺産登録推進室長）	興 津 良 祐
農 業 振 興 部 長	神 田 拓 治
都 市 整 備 部 長	山 崎 昌 広
下 水 道 部 長	原 口 幸 夫

農業振興部次長	森	本	秀	利
都市整備部次長	垣	本	義	博
下水道部次長兼下水道課長	岩	倉	正	典
農業委員会事務局課長	小	谷	雅	信
産業振興部商工観光課長	阿	部	員	久
産業振興部企業誘致課長	北	川	真由美	
産業振興部水産振興課長	榎	本	輝	夫
農業振興部農地整備課長	喜	田	展	弘
農業振興部地籍調査課長	和	田	昌	治
農業振興部農業共済課長	宮	崎	須	次
都市整備部管理課長	和	田	幸	三
都市整備部建設課長	赤	松	啓	二
都市整備部都市計画課長	原	口	久	司
下水道部企業経営課長	江	本	晴	己

Ⅱ. 会議に付した事件

- 1. 所管事務調査について…………… 4
 - (1) 産業振興の推進について
 - (2) 農業振興の推進について
 - (3) 都市整備事業の推進について
 - (4) 下水道事業の推進について
 - (5) 農業委員会に関すること
- 2. その他…………… 3 2

Ⅲ. 会議録

産業建設常任委員会

平成25年 4月25日(木)

(開会 午前10時00分)

(閉会 午前11時43分)

○阿部計一委員長 おはようございます。

開会前に大変私ごとで恐縮なんですけど、大変な不祥事がございまして、一言おわびを申し上げます。

実は、4月27日だったと思うんですが、市営住宅の竣工式がございました。私も長いことやっておりますが、委員長という要職にありながら全くその日が頭の中に飛んでおまして、議長がちょうど私のロッカーのところで書類を取りに来て、議長からきょうは葬式か何かあったんですかというようなことを言われて、初めて気がついたようなことでその節には、印部副委員長、また所管の議員の皆さん、そして関係ある所管の幹部職員の皆さんに、大変御迷惑をおかけいたしました。心からおわびを申し上げます。

それでは、ただいまから委員会を開会いたします。

市長、何かありましたら。

○市長(中田勝久) 皆さんおはようございます。

きょうは、産業建設常任委員会の所管事務の調査ということで、大変御苦労さんでございいます。

私のほうから1件、もう皆さんも御案内のとおり4月13日、淡路島地震ということで淡路市を震源地にして6弱の震度、すなわち淡路全体が6弱でなくて、南あわじ市は5強、洲本が5弱でございました。

それで、特に南あわじ市の場合も被害はあったのでございまして、ありがたいことに淡路市、また洲本市と比べて軽微な部分もございましたが積極的にこういうのはいつ起こるかかわからないということで、私どももその対応に積極的に取り組みました。これは、後の対応でございまして。

それで、一応自治会のほうにお願いをして、今最終の被害状況を取りまとめをいたしております。当初、皆さん方はやはり細かく住宅についての点検もしていなかったところもあったようでございまして、今予想される件数では一部損壊、すなわち瓦が少し落ちたとか、壁にひびが入ったとかというものも含めて今調査をいたしております。

それで、県のほうも災害共済に入っている住宅のこれについては、損害割合が10%未満すなわちちょっとでも被害があれば、1年間の5,000円、掛金の5,000円をするということで、その後の市長と県幹部の懇談会の中で知事が表明されました。

私どもも今申し上げたように、いろいろと協議をいたしてきたところでございまして、先ほども申し上げたとおり、絶えず地震があるやというものでないので、今回そういう大

きな全壊とか半壊とかいうような大きなものはなかったんですが、一部損壊、すなわちちよつと瓦が落ちたとか、少しずれたとか、壁にひびが入ったとかいうところについてもお見舞いとして対応するという方向で進んでおります。これは、金額的には5,000円。だからほとんど5,000円の範囲であると思います。

今、最終段階に入っております、一応職員が再度そういう被災の報告があったところについては、全部回らせてもらおうと。写真なり目視なりで取り組むと。後、少し被害の大きなところについては、設計士さんをお願いをいたしたところ、協力しましょうということをごさいます、設計士さんについては全部回るわけをごさいません。職員が目視なりをして、写真を撮ったりして、これはどうかな。10%以上かなという判断を求める場合に設計士さんをお願いをするということになっております。近々、最終の結果が出ます。いつまでも調査をするわけではごさいませんので、日にちを切って取り組んでいきたいと思ひます。

もう1件、人身事故ですがきのう私、3人のところにお見舞いに行って来ました。一人は重傷です。これはまだ県病に入院してございまして、女性の方でこの大腿骨を骨折して、いま少しリハビリに行けるようにはなってきたということをごさいます。

それからもう1名の方も女性でございまして、この人は筋肉の切断ということで、家庭でとりあえず20日から1カ月で静養して、その筋肉の切断の治療に入っているところをごさいます。

もう一人は、学生さんでして、この人はあの地震の大きさに意識が喪失して、救急車で病院に運ばれた。3日ほど静養していたそうですが、回復して今学校に通っているということをごさいました。

以上、ごくかいつまんでございしましたが、一応そういう状況でございします。ありがたいことに、洲本市がやはり一番状況を聞いてみますと、震度のほどは私どもよりも低かったんですが、被害状況は大きいようです。また、市の施設等々も結構傷みもあります。また今お話が出ている自治会の公会堂なんかもその後の調査で被害が出ているようですが、これは公共なりそういう問題ですので、少しおくれてもいたし方ないというふうにお思ひしております。

それと、県のほうから今この15分に来るということをごさいますので、中座させていただきます。

○阿部計一委員長 所管事務調査に入る前に、4月の人事異動でかなりの異動がございしました。そこで、前列のほうから異動されました職員の皆さん、自己紹介を一つよろしくお願ひいたします。前列から。

下水道部長。

○下水道部長（原口幸夫） このたび、農業委員会事務局長から下水道部長を拝命いたしました原口です。どうぞよろしく願いいたします。

○農業振興部長（神田拓治） このたび、農業振興部次長から農業振興部部長になりました神田といいます。よろしく願いいたします。

○産業振興部長（岸上敏之） 教育部長から産業振興部長に拝命しました。岸上敏之でございます。どうぞよろしく願いいたします。

○産業振興付部長（興津良祐） 4月の異動で、産業振興部の部長から部付の部長ということで、鳴門の渦潮の世界遺産登録推進室室長に拝命しました興津でございます。よろしく願いいたします。

○農業振興部次長（森本秀利） 4月の異動で、都市整備部の都市計画課から農業振興部次長ということで拝命を受けました。それと合わせまして、農林振興課の課長の事務取扱いということで、合わせて拝命をいたしました森本でございます。どうぞよろしく願いいたします。

○都市計画課長（原口久司） このたびの人事異動で、都市計画課長を拝命いたしました原口です。よろしく願いいたします。

○水産振興課長（榎本輝夫） この4月1日の異動によりまして、南淡総合窓口センター課長より水産振興課長を拝命いたしました榎本輝夫でございます。どうぞよろしく願いいたします。

○農業委員会事務局課長（小谷雅信） このたびの異動で、農業委員会事務局長を拝命いたしました小谷でございます。どうぞよろしく願いいたします。

○阿部計一委員長 どうも紹介ありがとうございました。今後とも一つよろしく願いをしたいと思っております。

それでは、所管事務調査に入ります。何かありましたら。

谷口委員。

○谷口博文委員 先ほども冒頭に市長のほうからあってんけど、市の4月13日の地震の被害状況等で、道路であったりため池であったり、公共施設、特に市営住宅は前回の報

告では調査中というような報告がなされていたので、そのあたり、道路、河川、ため池、公共施設、特に市営住宅、また下水、そのあたりの被害状況、あらたな何か被害報告があればお願いいたします。

○阿部計一委員長 建設課長。

○建設課長（赤松啓二） 公共施設ですけれども、私どものほうの所管で管理しております市道と橋梁についてですけれども、市道については、その後パトロールも含めて市民の方々からの特に異常の報告はいただいておりません。橋梁については、私どものほうの職員で、1、2級の道路の橋梁については、2日間をかけて点検をしました。その結果についても現在のところは異常はありません。その他の橋梁についても、順次点検をしていく予定であります。

○阿部計一委員長 農地整備課長。

○農地整備課長（喜田展弘） 農業ため池の件なんですけれども、4月13日ため池緊急点検ということで、県とともに市内72カ所を緊急点検を行いました。そのときは、ふつうに対象ため池に異常はなかったんですけれども、一部西淡地区の坂の谷池、それから近くの新池というところと、それからもう1カ所ちょっと櫛田の新池というところがちょっと聞いております。そこら辺の現地調査を行いまして、今後災害等かけるべく協議中でございます。

それからパイプラインとか1、2カ所損壊ということ聞いております。以上でございます。

○阿部計一委員長 下水道部次長。

○下水道部次長（岩倉正典） 下水道部所管の下水道施設なんですけれども、市内29浄化センター全て現地確認をさせていただきました。

被害といたしましては、顕著な被害は確認できておりません。そういったことで被害なしということで県のほうにも報告をさせていただいています。以上です。

○阿部計一委員長 都市計画課長。

○都市計画課長（原口久司） 市営住宅の関係でございますが、大きな被害はなかったんですけれども、宅内と言いますか。居住内での小さな漏水が2件、それから外部の小さ

なクラックが報告が2件ございました。それと、エレベーターが設置している4団地がございましたが、全部地震で停止しまして、3団地については13日中に復旧したんですけども、1団地、次の日のお昼ごろまでかかったというふうな状況です。以上です。

○阿部計一委員長 農業共済課長。

○農業共済課長（宮崎須次） 建物被害なんですけども、これは県の制度でございますけども、建物共済に加入している方なんですけども、それが4月24日現在ですけども、それが84戸の被害がございました。その中で、総合共済と言いまして、地震対応の共済に入られている方が36戸ございましたんですけども、その中で29戸の方の確認を県の連合共済の連合会が今現在確認中でございます。異常です。

○阿部計一委員長 谷口委員。

○谷口博文委員 そこで私の地区内やけど、ため池、農業用ため池、72カ所というのは前回の報告では大きなため池だったと思うんやけど、要は西路地区内のため池2カ所がそれなりの被害に遭っていると。この辺の災害復旧の手続というか、災害復旧にのるのかのらんのか、その辺の目安というか。40万円とかその辺のちょっと説明だけしていただけますか。

○阿部計一委員長 農地整備課長。

○農地整備課長（喜田展弘） 災害復旧に関しましては、この前ちょっと県のほうで緊急会議がございまして、そこに出席させていただきまして、このたびの地震で災害対応というようなことで聞いております。

それで、工事費40万円以上ということで対象になりまして、この事業をするに当たって、そこの地元の負担金が変わってきます。そこら辺も水利担当の方と協議させてもらって、災害の申請をするというふうなつもりでございます。

それで、一応申請をさせてもらって、同月下旬か7月上旬ぐらいに国のほうから査定が入りまして、そこら辺の経過を踏んで通りましたら、工事、灌漑時期後ということで10月、11月、そこら辺はちょっと地元の方と協議をさせていただいて行うつもりでございます。

○阿部計一委員長 谷口委員。

○谷口博文委員 災害申請して、国なら国の査定を受けて採択されたら工事着手が年内
というか、農業の取水に支障のないような時期にやっていただけると。そういう理解でよ
ろしいんやね。そういうことやね。

○阿部計一委員長 農地整備課長。

○農地整備課長（喜田展弘） そういうことです。ちょっと、期間が延びるかもわかり
ませんが、なるべく早くということで。

その地元の補助率に関しましては、ちょっとまだ国のほうでいろいろな条件等がござい
まして決定されます。まだ何%というのはちょっとまだ済みません。

○阿部計一委員長 谷口委員。

○谷口博文委員 もう1点、ここで聞いていいかどうか。関連で公共施設でないけど、
消防団の屯所。屯所が被害に遭っているんねんな。慶野地区で。これはここで聞いていい
かどうか知らんねんけど、聞いてほしいねんけど。そういうときの修繕というのは、でき
るだけ速やかにやってもらわなったら、やっぱり消防団の屯所の屋根瓦がずつとるとか、
壁面が壊れているからというやつは、この辺は至急対応はしてくれるのか。副市長。

○阿部計一委員長 副市長。

○副市長（川野四朗） 被害にあがっているものについては、修繕はできるものはすぐ
に修繕するということにはしております。それも公共施設の一部に入っていますので、被
害があったという報告を上げておいていただければ、こちらのほうでも対応は考えたいと
思います。

○阿部計一委員長 谷口委員。

○谷口博文委員 対応を考えていただけるんやけど、被害を上げたら、とにかくすぐに
して、市の全額負担でやってくれるということやね。

○阿部計一委員長 副市長。

○副市長（川野四朗） そこまではあれしていないので、屯所については地元負担もた
てるときには、地元負担もあつたはずですので、そのあたりを考えて、先ほど市長が言っ

たのは自治会の集会所、これについても対応せないかなということをおっしゃっていますので、そのあたりと同一補償をとってやれないかどうか、一遍検討してみます。

○阿部計一委員長 谷口委員。

○谷口博文委員 このあたり、支障のないように地区の消防団活動の支障のないように、至急修理をお願いします。これはこれで終わります。慶野地区なんで。

○阿部計一委員長 ほかに。
印部委員。

○印部久信副委員長 これは都市整備になるかと思うんですが、最近グリーンベルトということで、子供の歩道の関係でグリーンに塗ってあるところをちょいちょい見かけるんですが、そもそもこのグリーンベルトというのは、どういうことなんですか。

○阿部計一委員長 建設課長。

○建設課長（赤松啓二） これについては、昨年度から建設課のほうで実施をしております、県のほうも県道の部分について昨年度実施している箇所もございます。きっかけとしては、京都の事件を受けて通学路の安全確保ということをもとに、それを重要視させていただいて、通行の注意喚起として、以前でしたら車道部分についてスクールゾーンとかをやっていたわけですが、スクールゾーンということになると、なかなか道路交通法のはんちゅうにも入ってきますし、協議も時間がかかるということもありますし、このグリーンベルトについては、施工も簡単ですし、非常に昨年度やった中では好評でございますので、今年度もやる予定にしております。

○阿部計一委員長 印部委員。

○印部久信副委員長 私が市内の道路を走っておりますと気がつくのは、三原志知小学校前と榎列小学校周辺、それとちょっと違うなと思いつつ見ているんですが、市小学校の前の道路、いわゆる三原庁舎の間に何か10メートルぐらいの部分的に緑のグリーン地帯が全面的にあるようなところもあると思うんですが、昨年何か所ぐらいされたんですか。

○阿部計一委員長 建設課長。

○建設課長（赤松啓二） 建設課のほうでは、4カ所ですね。県のほうから聞いておりますのは、三原志知小学校周辺の県道。それと、防災課の予算で福良の防災道路というか、避難路ですね。避難路の部分でやっている部分もあります。路線もあります。

○阿部計一委員長 印部委員。

○印部久信副委員長 これは地元のことを言って恐縮なんですが、ことし賀集地区も小学校とともどもで、このグリーンベルトをやってほしいということをして市のほうに要請してあるというふうに聞くわけですが、ことしは市内ではどれぐらいの箇所の要望がきていますか。

○阿部計一委員長 建設課長。

○建設課長（赤松啓二） 要望箇所については、6カ所か7カ所だったかと思います。今年度については、市長ヒアリングの中で特別に市長に予算をつけていただいて、今年度当初は4カ所を予定しておりましたけども、そういうふうに地区からの要望もありますので、何とか要望に応じていきたいなというふうには考えております。

○阿部計一委員長 印部委員。

○印部久信副委員長 今の答弁ですと、今年度中には市内から地区から上がってきている要望は、時期はともかくとして年度中に全てをやってやるというような理解でよろしいですか。

○阿部計一委員長 建設課長。

○建設課長（赤松啓二） 全てはどないも言えませんが、先ほども言いましたように、6カ所、7カ所はできるかなと。ですから延長的なものがありますので、箇所数だけであれば可能かなと思いますので、1カ所の延長が長い要望が出てきますと、なかなか全部というのはどうかなというふうな気がしますが、できるだけ地元の要望に応じていきたいなと思っております。

○阿部計一委員長 印部委員。

○印部久信副委員長 わかりました。それはそれでよろしくお願いをいたします。

○阿部計一委員長 長船委員。

○長船吉博委員 昨年度もかなり予算をつぎ込んで、野鳥獣の対策をしました。しかしまだ、なかなか個体が減らず、今被害がかなりあちこちで僕等言われるんです。

今年度も大方6,000何ぼ総額でもかけて対策をするというふうなことなんですけども、今、各団体からどれだけの対策要望とかそういうふうなものはまだ上がってきていないですか。

○阿部計一委員長 農業振興部長。

○農業振興部長（神田拓治） 毎年、鳥獣害対策、特に捕獲については猟友会ともに力を入れております。

昨年度なんですけども、いのししについては例年どおり1,255頭。鹿が去年すごく思ったより捕獲していただきまして、1,763頭。通常だと1,200頭前後なんですけども、24年度につきましては、500頭ぐらい余分にとっていただいたと。洲本も、例年より余分にとっていただいたということは、鹿は主に諭鶴羽山系にあるんですけども、洲本市と南あわじ市で2,300頭ぐらいとったということで、個体の削減については、例年より余分にとってくれたかなと。

かと言って、被害は減少したのかなというのと、被害は聞くところによると、一部は減少傾向にあるんですけど、通常と変わらないという地区もあります。範囲が広がっているような傾向があるんですよね。今まで出没していないところが出てきたような感じがあります。

今年度も、国の予算も例年どおりついていますので、捕獲と防護策関係、例年どおり強化していきたいなど。一応、今のところは自治会から要望があった分については、ある程度クリアできるのかなというふうに考えております。

○阿部計一委員長 長船委員。

○長船吉博委員 一番今はやっぱり、捕獲しても被害を与えているのがいの豚。いの豚の出現から非常に被害が拡大して、地域もより一層拡大したいというのが現状だと思うんですけども、大体自治会、各団体、そこらほんまに申請したら100%、昨年だったら柵とか、そういうのは100%できたんですか。

○阿部計一委員長 農業振興部長。

○農業振興部長（神田拓治） 柵に関しては、要望どおり100%できたと思っております。うちが思ったより、要望が思ったより少なかったんですよ。去年、20キロぐらい予算化していたんですけども、上がってきたのが10キロ強だったので、だからおとどしは20キロ実施しているんですけども、だから希望があれば今の予算であれば、ある程度希望どおりクリアできるというふうに思っております。

○阿部計一委員長 長船委員。

○長船吉博委員 今年度始まってすぐなんで、今から要望すれば多分とおると思うんですけども、確か団体で、個人ではあかんのやな。5名ぐらい。3名から。早急に申請するように言っておきますので、対応のほどよろしく願いして終わっておきます。

○阿部計一委員長 農業振興部長。

○農業振興部長（神田拓治） 先ほど言いましたように、国の事業を導入しようと思えば3戸以上。そこで、山奥で3戸が集まらないというような地区もございます。その場合は市単で、1戸2戸でもあれば、3戸集まらないと。どうしても被害が大きいということで、一部隔離されているようなところについては、市単で上限、事業費で10万円、補助率で5万円、制限がありますけども、そういうのも市単で設けておりますので、地元のものし要望がありましたらよろしくお願ひします。

○阿部計一委員長 よろしいですか。ほかに。
砂田委員。

○砂田杲洋委員 農業の畦シートやマルチのシート。あれは、市が回収していないと思うんですけども、今の現状はどないなっていますか。わからん。畦シートやマルチのシート。あれ、一般廃棄物でないから、市が回収していないんやな。農協が確か、年2回ぐらい回収しよったと思うんですけど、それはわからん。年2回ぐらいらしいので。農家がその管理に困っているということで、ちょいちょい川に捨てたり、山林に捨てたりというのが多いので。

こないだ、市の職員の人からちょっと提案があっけんけど、八木の清掃センター、あれは27年に閉鎖かな。あれを農協さんに管理してもらって、そういうものを焼却したら農家も助かると。1週間に一遍でも回収日があっけん、あそこで焼却してもらったら。お金を払ってもいいし、倉庫に積んだりしとかんでいいし、山へほりに行かんでいいしと言うね

んけど、そんなことは考えられへんものかな。清掃センターを閉鎖になったら、農協さんに管理してもらって、そういう事業系の農家がのり網とかの焼却場というようなことできへんだらうかという、ある職員から提案があったんよ。それは大きな施設やから、なかなか管理をするのに金もかかるし。一遍聞いてみるわというか。どないかな。産業廃棄物やな。

○阿部計一委員長 農業振興部長。

○農業振興部長（神田拓治） 生活環境課の管轄だと思いますけども、焼却場の関係について、やまなみ苑の絡みもありますし、焼却計画を立てていると思うので、その辺はちょっと向こうで相談してみないと返事はできないんですけども。畦シートの関係については、産業廃棄物関係になると思いますので、その辺は、農協とも相談しながら研究してみたいなというふうに思っております。

○阿部計一委員長 砂田委員。

○砂田杲洋委員 産業廃棄物になるねんけども、農業に関係しているんやな。農家はその保管に困ってると。農協が確か、年2回しか回収しとらんと。有料で。それを倉庫に積み重ねとくというのは、なかなかできにくいと。つつい川や山へ持って行ってほったらうかということで、よくあるねん。山にいっぱいあるわけよ。それをこっちで、月に1回でも焼却するようなことができたなら、農家もちょっと置いておいて持って行きやすいということで、要望があったし、お宅の優秀な職員で一人提案があったわけよ。それはいいことやな。後の管理が大変なるけど。管理費がすごいねんけど。もしできるような可能性があれば検討してもらって。終わります。

○阿部計一委員長 谷口委員。

○谷口博文委員 今朝の新聞にも出とってんけど、もうかる農協というか。新規就農よ。そういう新規就農制度の補助、その辺の今の現状よ。採択されて、そういう新規就農事業で採択されているような事業者というか。その辺の今の現状をまず報告してください。

○阿部計一委員長 農業振興部長。

○農業振興部長（神田拓治） 今、新規就農については、人・農地プランで4名。それと、新規就農、人・農地プランでない。県と市の事業で、新規就農促進事業、それについ

ては1名、今取り組んでおります。現状はそうです。

○阿部計一委員長 谷口委員。

○谷口博文委員 TPP参加表明というか、あのあたりできょうの今朝の新聞に載っていた10年間で倍増とか所得倍増とか、耕作放棄田解消とか、そういうような新聞記事に出ているんやな。私も前々から言っているねんけど、40歳未満の方が新規就農をするのに、何かせつかくそういう補助制度があるのに、なかなか採択というか、その辺のハードルは私はどうもおかしなものでないかなというような。やる気のある、ほんまに農業に今から取り組もうかなと思ったって、年間150万円と言ったんかな。あの辺のやつが、なかなかハードル高いねんけど。あの辺をもうちょっと今朝の新聞を見よったら、もっとどんどん積極的にそういうふうな新規就農に対するさまざまな営農指導であったり、補助であったり、もっともっと積極的に市の農業振興やという名前がついているねんから、そこらもっと積極的に、耕作放棄田解消のためにやる気のある若い子をやったってほしいと思うねんけど。

その辺、今の制度上だったら、前々から言いよるようなやつはできへんのか。補助というのは、採択できへんのか。

○阿部計一委員長 農業振興部長。

○農業振興部長（神田拓治） 谷口委員さん言われているのは、こないだ熱心な後継者が一人いると。それが何とか支援できないのかということだと思いますけども。新規就農、人・農地プランの一番の4名と言いましたけども、一番の問題は、属地主義ですので、耕作する土地の地区で計画を人・農地プランをつくっていただきたいと。

そこで、例を言いますと谷口さん、A市ということになれば、ある部落で耕作をしていると。その地区の農会、もしくは自治会で人・農地プランをつくっていただきたい。人・農地プランを市のほうに上げてもらって、検討委員会にかけて、これは妥当であるということになれば計画自体が認めていただけると。その一番のポイントになっているのが、地区全体である程度、皆で協議をしてもらって、地区全体的話し合いがまとまったら、ある程度市としても許可をしております。

今、上がってきているのが、例えば100軒のある集落で、10軒ぐらいの農業をしたい10軒ぐらいの話の中でまとまるということになれば、なかなか難しいと。後の90人がそういう事業を知らなかったということになれば、地元の調整が難しいので、ある程度地元でまとめてほしいということになれば、ある程度人・農地プランというのは、ある程度とおっていきますので。

人・農地プランというのは1回計画をつくったらそれで終わりではありません。何ぼでも見直しがしていけるようなシステムになっておりますので、その辺のところ、A市が耕作しているところの自治会が農会にお願いをして、皆で話し合いをする場を設けてもらって、計画書を上げてもらえれば、許可はしていけるのかなというふうに思っております。

○阿部計一委員長 谷口委員。

○谷口博文委員 これは理解できるねんけど、新規就農ということは、新たに農業を始めるということで、その辺の地区との耕作放棄田を借りてしよるねんけど、その地区との調整というのはスムーズにいかんのが現状というか、全然違う地区のところへ飛び込んで行って、耕作放棄田を鳥獣被害に苦しんでいるようなところをあれしてしよんのに。そこでの地区の調整と言ったって、その人自身が地区の調整と言ったってできへんから、行政がもうちょっと窓口的な何かしたってくれへんのかなという思いがあるねんけど。その辺、行政、もうちょっと農業委員会か何かがやったってほしいと思うねんけど。行政はそこまでサポートできへんのけ。

○阿部計一委員長 農業振興部長。

○農業振興部長（神田拓治） このたび、人・農地プランの制度ができて、手を挙げているのが27集落だったかな。直接うちと協議をして詰めていったのが14集落。それについては、計画の1から10、うちから積み上げて、こういう指導のもとこういうプランをつくってくださいということで、14集落と検討して現在しております。

さっき言いましたように、人・農地プランというのは、新規就農者以外でなしに、意外も含めて、新規就農者も含めて、地域のあり方、10年後の農業をどうすべきか。各地区によって皆やり方が違うんですよね。地区の特性をいかしてプランをつくると。耕作できへん人もいる。これを耕作を誰にさせていただくか。例えば、隣地の人にしてもらうか。新規就農者にしてもらうか。営農集団にしてもらうか。極端な話、青果業でも入れるんですわ。株式会社でも入れる。だから、そういう人たちの助けを得て、耕作放棄地をなくして行って、離農する農家の農地を守っていく。そういうプラン、いろんなプランの組み方がありますので、それを地域ごとで相談をしてプランを出してほしいと。うちとしても、その辺の指導は希望が上がってきた地域については、積極的に取り組んでおります。

○阿部計一委員長 谷口委員。

○谷口博文委員 その地域ごとというやつは、新規就農と言って、今ほんま農業の後継

者というのは、かなり従事者が高齢化になってきていると。国の制度も40歳未満の人に、農業を新規就農してもらわんかという制度で、その子等でも35ぐらいで、全く飛び込みで百姓したことがない子がやりよんで。私はそれがまさに、新規就農制度の補助事業だと思っねんけど。地域ごとで取り組むというのは、また国の制度か何か知らんねんけど、おかしな制度やなと思って。ほんまにやる気のあるやつを目をつんでしまって、集落だけでまとまらなあかんというのは、その辺が難しい話やなと思っねんけど、これは何ぼ議論をしてもあかんさかい、おかしな制度やなというのだけ。

○阿部計一委員長 ほかにございませんか。
印部委員。

○印部久信副委員長 下水についてお伺いしたいんですが、まず副市長に聞きたいんですが、このたび加入推進課ですか。下水の。それが統廃合したということなんですが、この理由はなんですか。

○阿部計一委員長 副市長。

○副市長（川野四朗） 加入促進も非常に大事なんですが、新庁舎ができるときの組織再編ということをやっと以前から計画をいたしております。その計画の中では、かなり組織を再編して、コンパクトにしていこうというのが決まっております。徐々にそうしておかないと、なかなか一気に組織の再編というのはできませんので、できるところからやっっていくと。

結果、以前分割したところ、それについてはもう一回統合しようということで、今回は下水道の加入促進と企業経営課、それから税務課と収税課も以前は一緒だったんです。今回は、その対象にしていたんですが、収税課については、もう既に納付書等も印刷して、収税課というものの存在を明らかにしておりますので、今回は税務課に統一ができませんでしたので、収税課と税務課を課長兼務させて、結果的には一つにしていこうというふうなことをやらせていただいております。今後も年度におって、できるだけ新庁舎に合った組織体制に移行していくつもりはいたしております。

○阿部計一委員長 印部委員。

○印部久信副委員長 そこで、加入促進ですね。今まで我々もこの委員会の中で質疑をしておりますと、おおむね事業進捗率が70で、そのうち加入接続しているのが70というようなこと、おおむねそういうことだと思っんですが。担当の課長にお聞きしたいんで

すが、今現在、南あわじ市で供用開始になって、下水に接続している全戸数と、そのうち確かあれば加入に対しての優遇措置があったと思うんですね。供用開始1年目では何ぼ、2年目で何ぼ、3年目で何ぼというような優遇措置があったと思うんですが、全体に対してのその優遇措置の1年目、2年目、3年目の加入状況についてちょっと数字があったら聞かせてくれますか。

○阿部計一委員長 企業経営課長。

○企業経営課長（江本晴己） 現在、接続していただいている軒数は7,900軒余りです。

先ほどの早期接続者奨励金のことでしょうか。この件につきましては、1年以内に接続していただいた場合は3万240円。24年度の実績は123件。2年以内に接続された方には1万5,120円、これが22件。ただ、3年以内、24年度から新たにできた制度ですが、3年以内の場合は7,560円。それが18件。全部で163件となっております。

○阿部計一委員長 印部委員。

○印部久信副委員長 今、課長、言ってもらった数字は24年度でしょう。私の聞いているのは全体で7,900軒接続していますよね。その7,900軒のうち、全てで何軒が優遇措置を受けているかということを知りたいんです。これは、今の言うのは24年度の接続についての優遇措置を受けた軒数でしょう。7,900軒の中の全体の中で、1年目で接続された方はどれぐらい、2年目の接続はどれぐらい。3年目の接続はどれぐらいという、全体の数字を聞きたいんです。

○阿部計一委員長 企業経営課長。

○企業経営課長（江本晴己） この制度が始まってからですか。申しわけございません。その資料は持っていません。

○阿部計一委員長 印部委員。

○印部久信副委員長 7,900軒の接続があると思うんですが、とにかく何らかの3年以内で優遇措置を受けて接続をしてくれた軒数と、優遇措置を受けずに接続された軒数ですね。それが知りたいんです。

それで、結局私の言いたいのは、加入促進をされている当時の担当課は、当然供用開始が部分的に供用開始しておりますから、加入促進と言えども1年目の推進もありの、3年を超えた4年目の推進もあったと思うんですが、加入推進をしている中において、ですからきょうでなくても結構ですので、また一遍、その優遇措置を受けた軒数と優遇措置を受けなくて接続をした総トータルの中の軒数。ちょっとまた拾っておいてください。

○阿部計一委員長 それでは、暫時休憩をいたします。
再開は、午前11時といたします。

(休憩 午前10時50分)

(再開 午前11時00分)

○阿部計一委員長 再開いたします。
谷口博文委員。

○谷口博文委員 新たにできた世界遺産担当の職務内容というか、人員が何名おつてどの様な職務をしてどういうふうな世界遺産に向けての職責を果たすおつもりですか。

○阿部計一委員長 世界遺産推進室長。

○世界遺産推進室長（興津良祐） 世界遺産の登録の推進ということで、昨年3月末にユネスコの松浦事務局長さんを招いて、国生みのフォーラムを行いました。

また10月には、推進協議会の設立が行われております。それで、24年度につきましては、登りや横断幕、懸垂幕と、洲本市でしたら五色庁舎に。また淡路市については、淡路市の市役所に。また、南あわじ市ではなないろ館前に設置をしております。

そういうことで、動き出した世界遺産の登録について、昨日も鳴門市も伺って、そういうことで取り組んでいこうというお話をしております。そういうことで、人員につきましては、職員1名と臨時の職員1名を配置しております。それで、ことしの取り組みについては、協議会を設立して協議をしていく中ですが、先進地の事例の取り組みとか、また鳴門市、徳島県、兵庫県などに働きかけてそういう組織をつくり上げてもらいたいということを取り上げていきたいと思っております。

○阿部計一委員長 谷口委員。

○谷口博文委員 まだ組織としたら、鳴門とか県とかその辺の組織づくりというのは、まだ今からの課題で、まだできていないということですか。

○阿部計一委員長 世界遺産推進室長。

○世界遺産推進室長（興津良祐） この世界遺産の登録のリストの中には、また渦潮が入っていませんので、まだ徳島県、兵庫県にはそういう組織は立ち上がっておりません。ただ、鳴門市については観光振興課の中で、担当を置いていると。そういう状況でございます。

○阿部計一委員長 谷口委員。

○谷口博文委員 そういう部署をあえてこういう部をつくった意味というか。それについて副市長のどういうやつでこの部署をつくったわけですか。私は賛成なんやで。

○阿部計一委員長 副市長。

○副市長（川野四朗） 皆さん方も御承知のように、やはりそういう気分を盛り上げていこうという場合には、非常に大きな力が要ります。

淡路の推進協議会を立ち上げるにもなかなか我々のほうからは発信をして、淡路全体を動かす、また兵庫県を動かすということになっていかざるを得ないと思っております。兵庫県も渦潮の世界遺産の登録には力をかそうということを言っていたいておりますけども、他の2市と南あわじ市では、かなり温度差もあります。そういうところも引っ張って、淡路全体で、また兵庫県一丸となって、それを今度は超えて、徳島県と兵庫県が一体となって推進をしないと、この大きな問題にはなかなかゴールは見えてきません。

したがいまして、それを動かすための今南あわじ市の組織体制をはっきりしたということでございます。その体制づくりを今年度はきっちりと果たしていただくことが推進室の第一の役割だろうと思っております。それができると、いろいろの問題点も出てくるわけでございますので、そういうものを一つ一つ着実に積み重ねていって、何とか世界遺産に持っていきこうと。これもかなりいきの長い話だとは考えておりますけども、そのスタートラインについたということで組織を立ち上げております。

○阿部計一委員長 谷口委員。

○谷口博文委員 私は南あわじ市が本腰を入れて、そういうふうな動きがあったという

ことで、私は評価をしているねん。そこで、100万ぐらいの予算措置しかされていないんやな。それで私は前々から言っているように、やはり観光客、その辺に対して啓蒙というか、そのあたりをしっかりとやっていただきたいと。

先ほど世界遺産の担当の室長からのお話だったなないろ館前とか言っているねんけど。あの西淡インター出たところにオニオンタワーあるでしょう。あそこへ垂直マークか何かで、南あわじ市、渦潮を世界遺産に向けて、何かそういうふうな登りでも何でも年中してほしいねんけど、その辺のお考えはありませんか。

○阿部計一委員長 世界遺産推進室長。

○世界遺産推進室長（興津良祐） 谷口委員さんから、西淡インター出口でそういう啓蒙ということで聞いております。これも協議会の中で諮って進めていきたいなど、そういうふうに思っております。

○阿部計一委員長 谷口委員。

○谷口博文委員 西淡インターというのは、やはり南あわじ市に観光の入り込み客が必ずあそこを通過してくるねんな。あそこで、オニオンタワーか、瓦のモニュメント。ハチの巣になって、私は困っているねんけど、あそこへでもぼんとあれを隠すように、看板でもどんと建ってほしいねんけど。ここらほんまに真剣に考えて。あそこへ来た人は、渦潮というのは、世界遺産になるねんな。渦潮まで足を運ぼうかなということで、やはり観光客もイングランドへ来ていた、目的をイングランドへ来ているんやけど、イングランドへ回って渦潮を見にきたら、泊まらないと、仕方ないなということで市内で宿泊してくれるねん。そういうふうな相乗効果を発揮できるようなことをぜひ今年度にでもやるというぐらいのことを言ってもらわなったら、こんなものなないろ館のところに、こんな看板こんなふざけた話はないでと思うねんけどどないで。

○阿部計一委員長 世界遺産推進室長。

○世界遺産推進室長（興津良祐） とりあえず24年度については、各地区で各市でそういう横断幕なり懸垂幕を取り扱うということで、25年については今から検討の中でそういうことも含めてしていきたいと思っております。

○阿部計一委員長 谷口委員。

○谷口博文委員 あなたには期待しているんや。慶野松原も一緒についでに。とにかく市内の観光施設の看板をイングランドもそうや。インターを出たところへ、とにかくあんな瓦のハチの巣の巣になるようなやつを隠してでもやってください。それだけ、市内の観光施設の案内のやつに、ばんばんばんと特徴のあるようなやつを人形もあそこへあるねん。人形のああいうやつがあるねん。ここら、ほんまに市内の観光の案内のあそこは拠点やと思うから。あの辺にもっとそういうふうな入り込み客がふえて、その市内の観光施設に回ってくれるような、すいせんもしてもらったらいいねん。何もかも皆しといて。お願いします。

○阿部計一委員長 ほかに。
長船委員。

○長船吉博委員 急に、僕にある方からきょう10時からキッスFMで、南あわじの宣伝をしてもらうんやというふうな連絡があったんです。そのキッスFM、FM放送というのは結構若い子しか聞いていない。本当に今、40代ぐらいから下の子がよく聞いている。結構、昔福良の埋め立て、発着場のところ、船場のところでイベントをしたときもキッスFMに来てもらってイベントを宣伝してもらったら、「神戸走ってたら淡路でこんなしよるから来てん」とか言って、僕の知り合いが来てんとか言っていうふうなことで、そこそこの反響はあるんですよ。そのキッスFMで、淡路の南あわじの宣伝をしたその反響はあったのかどうかちょっとお聞きしたいんですけど。

○阿部計一委員長 産業振興部長。

○産業振興部長（岸上敏之） 先般、そういうお話がありまして、時間は10分で生番組の中に声だけ出演させていただきました。それで、長船委員には、ちりめんロードのことを少し確認をするのに、実は朝お尋ねをしたわけです。それで、西淡庁舎の電話の外線電話がつながる会議室で、約10分前に待機しておって電話を待っていたわけです。それで10分間やらせていただきました。その部屋を出るや否や、ある方からすぐ電話が入りまして、逆にこっちが驚いたわけなんですけど、実は私は直接肌で感じたのは、そのような程度で、まだ全般的にはちょっと感じているところはないんですけど、やはりともかく発信をするちょうどよい機会であったので、限られた時間ですが一生懸命発信をさせていただきました。そんなところでございます。

○阿部計一委員長 長船委員。

○長船吉博委員 これは有料だったの、無料だったの。

○阿部計一委員長 産業振興部長。

○産業振興部長（岸上敏之） 無料でございます。

○阿部計一委員長 長船委員。

○長船吉博委員 そこそこの反響があったら、今後継続的に有料でもいいだろうけども、継続的なことを考えていくべきと違うかなと。やっぱり今の情報社会の中で、情報発信せなお客さんに伝わらへんし、やっぱりある程度の情報発信することによって、また口から口へというふうなことも伝わっていくのであって、やっぱりもっともっと淡路の魅力を情報発信するべきやと、僕等は思うねん。やっぱりしていないとは言っていないよ。言っていないけども、早い話が水仙郷でもそうやないの。テレビで放映してもらおうと、一遍に集客人数がはね上がる。やっぱり今後そういうことも含めて、継続的な考え方はないのですか。

○阿部計一委員長 産業振興部長。

○産業振興部長（岸上敏之） 私もちょうど4月に着任させていただきまして、その後の震災といたしますか。地震が起きたわけございまして、ちょうど関係者と協議をするある場ございまして、そこで地震の影響はと聞きますと、やはりキャンセル件数も大きいし、人数にしても1,000や2,000の数ではございませんでした。

そこで、やっぱり営業のプロと言いますか、そういった方のお話の中で、今イメージダウンしているの、淡路島は絶対べっちゃないよということは、やはり言いたいんだけど、言いにくいというようなことで、そのイメージダウンしたものは同じマスコミを通じてイメージダウンしたのであれば、マスコミを通じてイメージアップするべきというすばらしい意見もございました。

そんなところで、今委員言われたように、ぜひ引き続いて、そういうマスコミ関係と聞きながら少しでもチャンスがあれば、そこへ情報を流させていただく。あるいは、時には有料でもせなならんことが当然出てこようかと思しますので、またそういうときはぜひよろしくお願いをしたいと思えます。

○阿部計一委員長 長船委員。

○長船吉博委員 部長、勘違いせんといてよ。定期的にということは、有料でということ。今、震災でもやはりキャンセルというのは、ほとんどがメディアによる風評被害で、宿泊設備とか観光施設、全部何も被害がなかったということはないけども、微々たる観光事業に影響する被害は出ていない、その風評被害を払拭するメディアを使って、どんどんやっぱり来てもらうというようなことをやっぱりすることは必要だと、僕は思います。ですから、継続的なそういうことも今後考えていくべきだというふうに思っております。いかがでしょうか。

○阿部計一委員長 産業振興部長。

○産業振興部長（岸上敏之） ぜひ取り組みたいと考えております。

○阿部計一委員長 商工観光課長。

○商工観光課長（阿部員久） 今回の答弁に対しましてちょっと補足で、昨年度行ったことをちょっと報告させていただきます。

ラジオ等の番組につきましては、NHKの大阪ラジオのほうで、関西ラジオワイドという市町村だよりというコーナーがございます。これにつきまして、24年度は3回に渡って、そのラジオでの放送をしていただきました。

まず、4月にありました分については、南あわじ市が、そして淡路島が渦潮の世界遺産に取り組んでいますという内容をさせていただきました。それで、8月に2回目がありまして、このときにはちょうど福良湾の海上花火大会がありましたので、花火の紹介、それに引き続いて盆踊り、それから綱引きに関連した放送をさせていただきました。3回目につきましては、2月にありまして、これは水仙郷のことについて、それと人形座のことについてということで、ラジオで放送をさせていただいています。

NHK以外には、関西ラジオ等の取材も受けております。以上、ちょっと補足説明をさせていただきます。

○阿部計一委員長 長船委員。

○長船吉博委員 メディア、それは全部ほとんど無料だと思うんやな。無料の場合はやっぱりその客のニーズに合ったメディアが取材に来るのであって、今南あわじ市でも結構3年とらふぐとか、そういういろんな部分でメディアが来てもらって宣伝も効果も出ているんですけども、僕が言うのはやっぱり定期的に有料も使ってやるべきだというふうに提案したいなということなんよ。それもやっぱり有料とする限りは、やはりプロの宣伝する

ような形のよく聴いている、リスナーが聴いているその耳に入りやすい、すぐに簡単でより明確なキャッチフレーズなり、そういう部分をよく考えた中でやっぱりそういうのを有料にするべきだということなんですけども。

これはもうちょっと話が全然変わるんやけどもいいかな。今、人形座がオープンしてやっておりますよね。人形座もやはり今後一つの観光施設だということで、もっともっと観光的に売り出しも行かないかんということの中で、僕の耳、うわさなんですけども、人形座が教育委員会から産業振興部に所管が移るのかなと。移るんと違うかというふうなことをちらっと耳に入るんですけども、副市長、そんなことはありませんか。

○阿部計一委員長 副市長。

○副市長（川野四朗） ごさいません。

○阿部計一委員長 印部委員。

○印部久信副委員長 産直について聞きたいと思うんです。先ほど谷口委員は、賛成という前提のもとで質疑をしていましたが、私は反対という立場で質疑をします。とにかくいつか質疑をして最終的には採決ということになると思うんですが、そのときには気持ちよく賛成できるように、十分説明をしてほしいと思うんです。今の状況では、とてもとてもこの事業は無理だと私は思っているんです。

今の進捗状況はその後どうなっていますか。

○阿部計一委員長 農業振興部次長。

○農業振興部次長（森本秀利） 今の進捗状況としましては、今年度測量調整なり、また実施設計等の予算をおいておりますが、全体的には国の活性化交付金事業をということ考えておまして、現在その交付金計画をつくって、国に対して計画の説明なり認可をいただくという手続に入っております。それが終わり次第、測量なりの具体的な調査を入っていきいたいというふうに考えております。

○阿部計一委員長 印部委員。

○印部久信副委員長 私は、もう一番思っているのは、今担当次長の説明は物をつくる、国からの補助金交付金をもらうという計画ですがね、これはできると思うんですよ。私はもう一番心配なのは、できた後の運営。これを果たして思っているような運営ができるか

どうかというのが、これはもう一番の問題であって、こんな補助金もらってきて建物するんやったら、これはもうほとんど努力もせんといかんと思うけど、ほとんど機械的にできていくものであろうと思っている。市長の努力も要りますよ。それはそれとして。要は運営よ。その辺はどのような話し合いになっておりますか。

○阿部計一委員長 農業振興部長。

○農業振興部長（神田拓治） 議員さん言われるように、一番のネックは運営です。御存じのとおり、ワーキングチームで3年間、2年半ですか。いろいろ協議をしてきまして、その中で一番ワーキングチームの中の意見では、この管理運営を誰が中心になっていただけるのかなということが、もう最終的な意見だったので、今の段階には管理運営主体を引き受けているところには、していただけるようなところへ打診はしております。

基本的には、前も話をさせていただいたように、この管理運営については合弁会社で運営していってもらいたいなど。ただ、その会社につきましても、会社の半分以上は農業者関係団体で組織するというコンセプトの中で、今考えております。その中には、当然JAも入ってくるだろうし、酪農協、漁業組合、各生産者農家、それに伴うパートナー企業、その辺等を組織して新しい合弁会社で運営をしていきたいなど。その中でもいろんな方々がおられますので、誰か中心になる運営主体を誰かとってもらえないかなということで、今模索している状況でございます。

○阿部計一委員長 印部委員。

○印部久信副委員長 これはすぐにどうこうということは、なかなか答えは出らんと思うので、継続して当然これも担当部のほうでやっていると思いますので、私も委員会が毎月あるようなんです。その都度毎回聞かせてもらいますので、一つよろしく願います。

○阿部計一委員長 出田委員。

○出田裕重委員 水仙郷のことですけども、ちょっとこないだ気になったのが、開園日、閉園日をどうやって決めているのかということと、閉園日の情報が余り観光客の人に耳に入っていない。今、水仙郷開いているのかな、どうかなという問い合わせも僕も個人的に受けたんですけども、調べようがないんです。ホームページを見たって載っていないし。その辺どないなっているんですか。

○阿部計一委員長 商工観光課長。

○商工観光課長（阿部員久） 水仙郷の開園日、それから閉園日でございますが、まずその日の設定につきましては、水仙郷の指定管理者であります黒岩自治会と協議をいたしまして決定しているわけでございますが。

○出田裕重委員 何日前に決めているんですか。

○商工観光課長（阿部員久） 開園につきましては、12月、例年12月の下旬ぐらいということでございますが、花の咲き状況等考えながら12月に入ってからということになります。

それと閉園につきましては、これも花の状況、それから予約状況等を見まして、決定するのが本当に閉園の10日から2週間ぐらい前ということで、その状況報告につきましては、市のホームページで決定次第アップして載せるようにしております。

○阿部計一委員長 出田委員。

○出田裕重委員 それが載っていなかったように思うし、載っていたとしても見つけにくい。開いているだろうなと思って、水仙郷に行って、閉まっているかどうかわからへんですけども、そこで追い返されるみたいな、そんな状況になるんですかね。行ってしまった人は。何か情報が足りていないと思うし、要望は要望で開園の情報は大体耳にも入るし、新聞にも取り上げられるし、終わりだけが何か尻すぼみというか。そういう印象を受けたんですけども。どんな感じですか。どない思っていますか。

○阿部計一委員長 商工観光課長。

○商工観光課長（阿部員久） 一応、情報発信につきましては、今シーズンについてPRも少なかったという反省を受けて、ホームページのほうでその都度開花状況を更新しております。2日に一遍ぐらいの割で現場へ行って、写真を撮ってきて情報発信していたわけでございますが、それを小まめに見ておられる方につきましては、本当にそのとおりで問い合わせも来るんですが、ホームページ等を見ておられないような方につきましては、ちょっと情報が行っていないんじゃないかというようなこともあったんじゃないかと思えます。たまたま新聞とか、それからそんなんで報道機関から取材があった場合は、その都度発信しておりますが、特に閉園については、決定する時期が遅いということで行き渡らない点もあったんじゃないかというふうに考えております。

○阿部計一委員長 出田委員。

○出田裕重委員 福良の観光案内所とかに行ったら教えてくれるとは思いますが、やっぱりそういうのは目視ですぐわかるような感じにしてもらったほうがいいんじゃないかな。西淡三原インターもそうですし、何となくふらっと来る人もいると思うんですよね。そういう人等に残念な気持ちになってもらいたくないし、そういう対策をぜひ考えてほしいなど。追い返されるぐらいやったら苗を1個プレゼントとか。そういうのは、対応可能だと思いますので。部長見ていますけどどうですか。よく協議をしてください。来年に向けて。

○阿部計一委員長 よろしいですか。
谷口委員。

○谷口博文委員 私も水仙郷。私も休日のとき行ったんよ。10時半ごろ行ったらずっと道路沿いに並んでいて、ガードマンに聞いたら2時間待ちやと言われたんよ。駐車場。それから土生港かどこかあの辺のところへ行って、シャトルバスというかあの辺の手順が悪いわ。ほんまに。トイレもなければずっと海岸沿いにずっと並んで、今から駐車場に入るのに2時間待つと言うから帰りましたけど。あの辺もっとスムーズに、臨時駐車場からシャトルバスというか、あの辺しっかりとやってもらわな観光客来て、女の子だっておしっこしたい者、走りまわってるで。道沿いで、トイレもなければ歩いて先に水仙郷へ行きよる人もいるけど。あそこはもっと手際よく、ここで言っているものかどうか知らんねんけど。

それともう1点、西淡インター出たところ玄関口、やっぱりちゃんといつもきれいにしたいほしいねん。公園の管理よ。あの辺やっぱり景観というか、人は見かけが9割というか、市内に入ってきて玄関口入ってきて、雑草が生い茂ったたらこの南あわじ市は汚い町やなと思うねん。だから、それはやっぱり水仙の花でも咲き乱れとったら、南あわじ市といたらすばらしい景観のいい町やなというイメージやな。要はイメージで人はその市を判断しているねん。玄関口、ハチの巣がしょっちゅう取りよんねんけど、あの辺の草というかもっと管理を積極的に入れてもらって、清掃というかこれだけはかつちりと管理してもらわなんだら、玄関口が汚れとったらほんまもう市のイメージがイメージダウンや。それで、水仙でも行って、道路沿線ずっとして立ちしょんべんしょったりとか、2時間も駐車場へ行くのに待たすというのは、やっぱり観光客に対して失礼やから。そこらしっかりと今後対応したってください。お願いいたします。玄関口、掃除すぐしますと言って。モニュメントのところの公園というのは、管理は誰よ。

○阿部計一委員長 管理課長。

○管理課長（和田幸三） どの管理下ということで、御指摘があったんですけども、西路公園、道の駅の部分につきましては県の管理で。それから瓦のモニュメントの部分については、都市整備の所管ではないということで、多分商工観光、産業振興部の所管の部分だと思っています。

○阿部計一委員長 産業振興部長。

○産業振興部長（岸上敏之） その辺は、これから頑張ってやらせていただきますので、また御指導よろしくお願いたします。

○阿部計一委員長 その辺のところは、市の縄張り争いみたいなことをせんと、市全体のことやねんから。それはもう執行部が即断でできることだと思う。そういうことをやっぱりきっちり玄関口、やってほしいなと思いますので、よろしくお願したいと思います。ほかに。なかったら副委員長1点。

○印部久信副委員長 阿部委員長。

○阿部計一委員長 昼から馬の育成場の管内視察をすることになっているんですが、誘致課長にちょっとお尋ねしたいんですが、吹上の浜で谷間さんが持っていた土地を堀建設が太陽光パネルですかね。そんなんでも1兆の面積で、今きれいに整備しているんですよ。あの辺はちょうど観光国立公園の第2種地域ということですけども、これは市には何の何もないですかね。

○印部久信副委員長 企業誘致課長。

○企業誘致課長（北川真由美） ちょっとうわさでは、お聞きしておりますけれども、詳しいことは市のほうは全然聞いておりません。

○印部久信副委員長 阿部委員長。

○阿部計一委員長 もちろんこれほとんど整地をこれはすごい面積で、きれいにしてやりよる。地元の業者、堀さんがやっているの。どこのメーカーが入ってやるのか。これ

はもちろんやるのであれば、企業誘致とかそういうふうな形にも当てはまるのと違うかと思うので、市のほうは全然課長のほうはそういうこと、全然お聞きしていないわけですか。

○印部久信副委員長 企業誘致課長。

○企業誘致課長（北川真由美） はい。全然情報は、入っていない状態です。

うちの課では、誘致奨励金のほうの関係もあるんですけども、奨励金のほうは、雇用のほうを重視していますので、太陽光パネルになりますと、全然雇用が発生しないということになりますので、その辺の奨励金との関係は全然全く関係がないような状態でございます。

○印部久信副委員長 阿部委員長。

○阿部計一委員長 それはよくわかったんですけど、仮にあれだけの面積を大がかりにやるということを市が、全然わからんということも何かおかしいものやなと私は思うんですわ。どこの企業がやるぐらいは、やっぱりそういう市のほうへ申告義務もないのかもわからんけども、その辺1回ちょっと課長、調べておいてください。

○印部久信副委員長 企業誘致課長。

○企業誘致課長（北川真由美） かなり5,000平米以上とかになってきますと、県のほうへ開発申請というものが必要になってまいりますので、その関係で都市計画部のほうには、多分協議が上がってこようかと思えます。中のほうで、また連絡を密にこれからとっていきたいと思っております。

○阿部計一委員長 ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○阿部計一委員長 ないようでございますので、その他に移りたいと思います。

その他について、何か。

砂田委員。

○砂田杲洋委員 企業誘致課長に聞きたいんですけども、吉備国際大学、60名の定員だったところが、うわさでは5、6名の定員割れになったと。その原因はと言うと、本市

のアパートなりマンションが5万円以上が多くて、5万円以下の安い物件が少なくて5、6名断念したということ聞いておりますけど、定員割れはあったんですか。

○阿部計一委員長 企業誘致課長。

○企業誘致課長（北川真由美） 最終の入学者は、定員60名に対して56名でございました。それで、マンションが高くて入れなかったというのが、それが原因かどうかというのは、定かではありませんけれども、宅建業界のほうへお願いしてございまして、できるだけ個人の希望に合うようなところで探していただきました。それで宅建業者のほうも、いろいろ考えていただきまして、学生さんについては少し学生割引ということで、値段等を下げて入居していただいている状況です。

今後のこともございますので、今宅建業者さんとか、ハウスメーカーさんについて4万前後ぐらいの月マンション代で、再三がとれるようなマンションが建てられるのかどうか。今、その辺を検討をいただいている状況でございます。

○阿部計一委員長 砂田委員。

○砂田杲洋委員 今年度は今年度で住んでいるねんけど、来年から60名、60名、3年間続くわな。低価格のマンションなりアパートなりが不足するということは予想される。そこで、大学と市からもちょっと補助金を出してというような、アパートとかは考えておりませんか。

○阿部計一委員長 企業誘致課長。

○企業誘致課長（北川真由美） 今のところは、まだ考えていないんですけども、検討していくことかなとも思っております。

○阿部計一委員長 砂田委員。

○砂田杲洋委員 大学はきたけれども、学生の住むところがなしやったら、これから先、心配されるので何とかそういうことも検討してもらったり、大学と市もちょっとぐらいは負担をして、何とかそういう低価格のアパートなり何なりの建設をしていただくように検討してください。

○阿部計一委員長 ほかに。

ほかはないようでございますので、執行部から何か報告事項がありましたら報告をお願いします。

都市計画課長。

○都市計画課長（原口久司） お手元の資料の若人の広場公園の整備概要について、つけさせていただいております。昨年度、実施設計を行い、いよいよ今年度から2カ年をかけて整備を実施するというので、整備概要について報告をさせていただきます。

お手元の資料の2ページをごらんください。全体計画図をつけております。整備計画を各ゾーンごとにかけております。

まず、記念棟、管理棟ゾーンですが、以前の展示棟部分については、外部の石積及び内部を補強改修し、その中1階には管理事務所、トイレ、休憩スペース、また一部点字研修スペースを設けます。また、2階屋上部は広場と利用して、展望台を設置いたします。

続いて記念棟の部分ですが、記念棟については、基礎部分を補強し高さ3メートルまではコンクリートを打ちかえ、3メートル上から上部については、補修を行うということです。また、以前ありました平和のともしびを設置し、ライトアップが以前のように、ライトアップができるよう整備を行います。

続いて公園部のAゾーン、宿泊棟のある部分ですが、宿泊棟を解体し、主に駐車場として整備を行います。続いてB、Cゾーンですが、主に芝生の広場ですが、Bゾーンに東屋と屋外のイベントスペースとして利用できる舞台を設置します。続いてDゾーンですが、ここには、屋外便所を設置し、駐車場としても利用できる広場として整備を行います。

次に、植樹関係ですが、現在桜が全体記念棟の部分も含めて150本程度ございますが、新しく50本程度植樹する計画です。また、広場には芝生を約2,700平米、Bゾーンから管理棟への階段部分に、今も水仙あるんですけども、反対側に新しく約40平米水仙を植えます。また、公園と市道沿いの乗り面、ブロックの上なんですけども、及び広場に延べ180平米程度のさつきを植えます。また、広場の中には平戸つつじを約230平米植えます。

最後に、今後の工事にかかるスケジュールですが、既に4月5日に入札公告を行っております。入札日は5月28日に予定しております。なお、契約に係る案件は、6月議会に上程を予定しております。

以上、報告とさせていただきます。

○阿部計一委員長 ほかにありませんか。

企業誘致課長。

○企業誘致課長（北川真由美） 昨日の神戸新聞に、パナソニックがリチウムイオン電

池事業を採算性を改善するために、住之江、それから南淡工場、徳島工場の3工場で600人の削減検討を行っているということが掲載されました。担当課といたしまして、すごく心配していたわけなんですけれども、南淡工場のほうは影響がないということで、心配しないようにということで連絡を受けておりますので、お伝えをしておきたいと思います。

○阿部計一委員長　　若人の広場の整備概要につきましては、もうきょうは説明だけでとどめておきたいと思います。終わります。

長時間に渡りまして、慎重、審議ありがとうございました。

これを持ちまして、産業建設常任委員会を閉会いたします。

なお、午後1時10分庁舎前集合ということで、管内視察に行かれる方は一つよろしくお願いをしたいと思います。どうもありがとうございました。

(閉会 午前11時43分)

委員会条例第30条の規定により、ここに署名する。

平成25年4月25日

南あわじ市議会産業建設常任委員会

委員長 阿部 計一